

# 松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【平成30年10月】

■調査概要（データ対象期間：平成30年10月1日～10月31日）

- 調査期間：平成30年11月3日～平成30年11月19日
- 調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査
- 回収状況：建設業23企業、製造業23企業、卸売業14企業、小売業30企業  
飲食業17企業、サービス業43企業（運輸、不動産仲介業を含む）  
<合計150企業>
- 調査項目：10月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価  
状況向こう3ヵ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI (Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※DI = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの回答割合)

松本市・松本商工会議所

# 概況

## 業況DI・水準DIともにマイナス幅が縮小

### 1. 業況判断

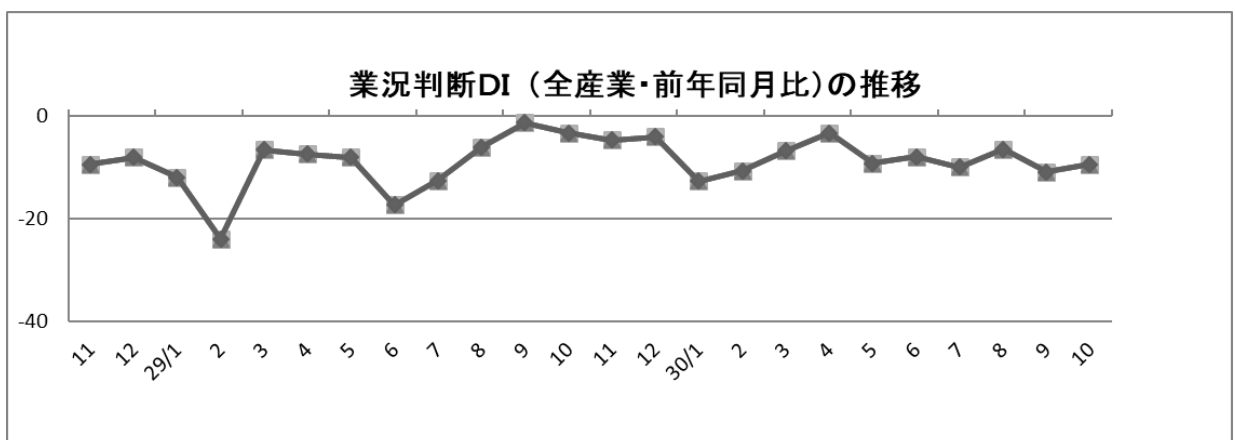
- 全産業合計の業況DI（前年同月比ベース）は、前月（▲10.9）よりマイナス幅が1.5ポイント縮小し、▲9.4となった。業種別では、製造業はマイナスからプラスに転じた。サービス業は変化がなかった。建設業はプラスからマイナスに転じた。飲食業、卸売業はマイナス幅が縮小し、小売業はマイナス幅が拡大した。
- 全産業合計の水準DIは、前月（▲12.8）よりマイナス幅が4.8ポイント縮小し、▲8.0となった。業種別では、卸売業はマイナスからプラスに転じ、サービス業はマイナスから0となった。飲食業はマイナス幅が縮小し、建設業、製造業、小売業はマイナス幅が拡大した。

業況判断DI

	業況[前年同月比]				今月の水準			
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	13.3 (14.7)	64.0 (59.7)	22.7 (25.6)	▲ 9.4 (▲ 10.9) ↗	16.0 (13.5)	60.0 (60.2)	24.0 (26.3)	▲ 8.0 (▲ 12.8) ↗
建設業	4.3 (20.0)	82.7 (68.0)	13.0 (12.0)	▲ 8.7 (8.0) ↘	8.7 (8.0)	78.3 (80.0)	13.0 (12.0)	▲ 4.3 (▲ 4.0) ↘
製造業	34.8 (16.7)	34.8 (54.1)	30.4 (29.2)	4.4 (▲ 12.5) ↗	26.1 (20.8)	39.1 (54.2)	34.8 (25.0)	▲ 8.7 (▲ 4.2) ↘
卸売業	21.4 (9.1)	42.9 (45.4)	35.7 (45.5)	▲ 14.3 (▲ 36.4) ↗	35.7 (27.3)	35.7 (27.2)	28.6 (45.5)	7.1 (▲ 18.2) ↗
小売業	10.0 (16.7)	53.3 (60.0)	36.7 (23.3)	▲ 26.7 (▲ 6.6) ↘	10.0 (13.3)	53.3 (56.7)	36.7 (30.0)	▲ 26.7 (▲ 16.7) ↘
飲食業	5.9 (0.0)	70.6 (47.4)	23.5 (52.6)	▲ 17.6 (▲ 52.6) ↗	11.8 (0.0)	64.7 (52.6)	23.5 (47.4)	▲ 11.7 (▲ 47.4) ↗
サービス業	9.3 (17.0)	81.4 (66.0)	9.3 (17.0)	0.0 (0.0) →	14.0 (14.9)	72.0 (66.0)	14.0 (19.1)	0.0 (▲ 4.2) ↗

( )内は前月データ

※「業況[前年同月比]」・・・前年同月の業況との比較による回答の集計  
「今月の水準」・・・事業主の方の主観による回答の集計

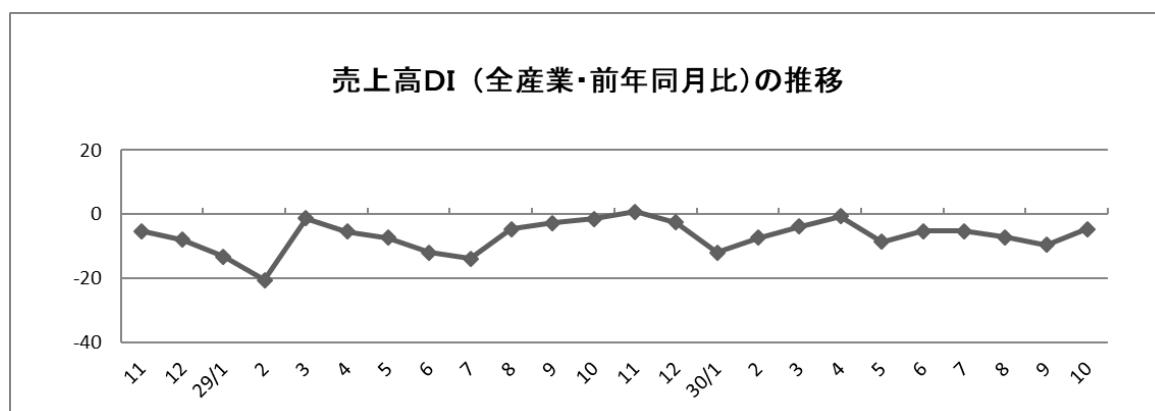


## 2. 売上高DI（前年同月比）

○全産業合計の売上高DIは、前月（▲9.6）からマイナス幅が4.9ポイント縮小し▲4.7となった。業種別に見ると建設業はプラス幅が縮小し、製造業、サービス業は0からプラスになった。卸売業、飲食業はマイナス幅が縮小し、小売業はマイナス幅が拡大した。

【対前年同月比売上高業種別DIの推移】

	29年10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
全 体	▲1.4	0.7	▲2.6	▲12.0	▲7.4	▲3.8	▲0.6	▲8.6	▲5.3	▲5.3	▲7.2	▲9.6	▲4.7
建設業	13.7	20.0	20.9	0.0	14.2	16.6	4.6	▲4.6	▲8.7	4.3	0.0	16.0	8.7
製造業	▲4.5	0.0	▲13.7	▲4.3	▲14.3	▲14.3	8.7	▲5.0	0.0	18.2	13.0	0.0	8.7
卸売業	13.4	13.4	25.0	6.7	12.5	7.7	▲15.4	26.6	▲26.7	▲18.2	▲30.0	▲54.5	▲7.2
小売業	▲12.9	▲20.7	▲16.7	▲33.3	▲18.2	▲11.5	▲10.7	▲38.7	▲8.0	▲30.8	▲29.0	▲10.0	▲26.7
飲食業	▲20.0	0.0	▲23.5	▲25.0	▲35.0	▲11.1	▲25.0	▲22.2	▲21.1	▲61.1	▲15.8	▲52.6	▲17.6
サービス業	4.9	0.0	▲2.5	▲9.5	0.0	▲2.7	10.2	2.3	8.5	15.4	2.1	0.0	2.3

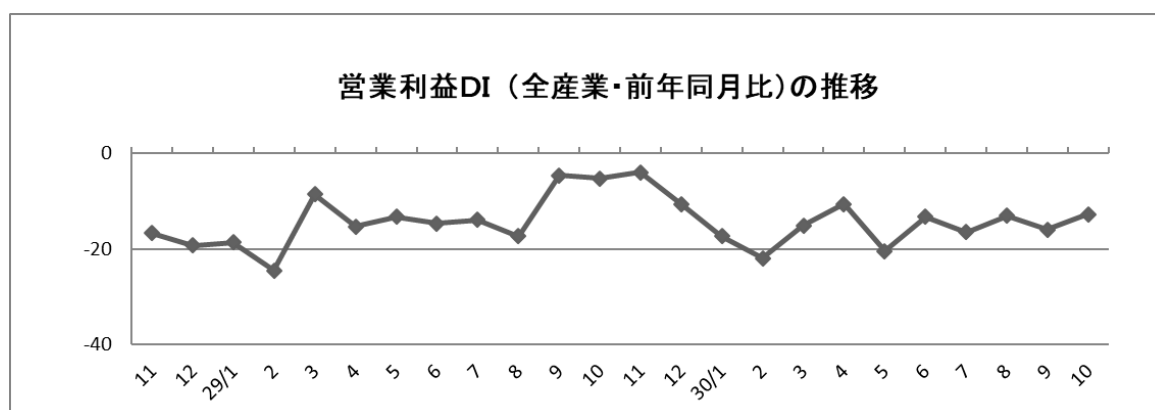


## 3. 営業利益DI（前年同月比）

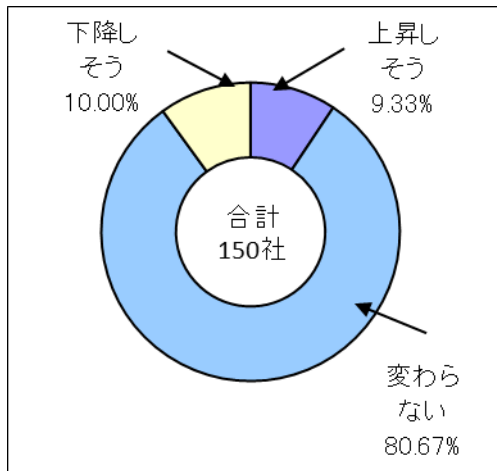
○全産業合計の営業利益DIは、前月（▲16.0）よりマイナス幅が3.3ポイント縮小し、▲12.7となった。業種別に見ると、製造業は0からプラスとなった。卸売業、飲食業はマイナス幅が縮小し、サービス業、建設業、小売業はマイナス幅が拡大した。

【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

	29年10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
全 体	▲5.3	▲4.0	▲10.6	▲17.3	▲22.0	▲15.1	▲10.6	▲20.5	▲13.3	▲16.5	▲13.1	▲16.0	▲12.7
建設業	13.6	8.0	▲4.2	▲13.1	▲14.3	▲22.2	▲22.7	▲13.6	▲21.7	▲17.4	▲22.7	▲12.0	▲13.1
製造業	▲9.1	5.0	▲4.6	▲4.4	▲47.6	0.0	▲4.4	▲15.0	▲18.2	18.2	13.0	0.0	8.7
卸売業	6.7	▲13.3	0.0	0.0	▲37.5	▲23.1	▲15.4	▲6.6	▲6.7	▲18.2	▲10.0	▲36.3	▲7.2
小売業	▲9.7	▲20.7	▲20.0	▲33.3	▲15.1	▲26.9	▲25.0	▲54.9	▲20.0	▲46.2	▲35.4	▲20.0	▲36.6
飲食業	▲25.0	0.0	▲23.5	▲30.0	▲35.0	▲22.2	▲31.2	▲33.3	▲36.9	▲66.6	▲26.3	▲47.4	▲17.6
サービス業	▲4.9	▲2.3	▲9.8	▲16.7	▲5.1	▲5.4	8.1	▲2.3	4.3	1.9	▲2.1	▲6.4	▲7.0



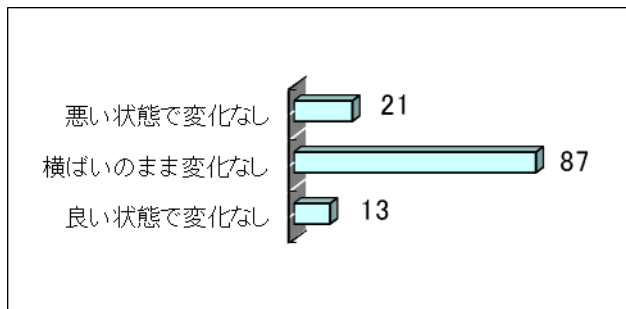
◇ 向こう3カ月の見通し ◇



○平成30年11月～平成31年1月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ0.36ポイント増加し9.33%、「下降しそう」が2.31ポイント増加し10.00%となった。業種別の見通しDIは建設業(4.4)、製造業(▲8.7)、卸売業(0.0)、小売業(0.0)、飲食業(17.6)、サービス業(▲7.0)であった。

➡「上昇しそう」では「今が悪い状態のため」(建設業)「年末年始は繁忙期のため」「新規品の流動等のため」(製造業)「忘年会シーズンに入るため」「受注案件の増加のため」(卸売業)「エコ補助金の活用が出来そうのため」(小売業)「忘年会シーズンに突入のため」「大手門駐車場の供用開始に伴う観光客の増加に期待しているため」(飲食業)「11月の予約が多いため」「新しい育毛法導入によりお客様が増えているため」「毎年、年末年始にかけてお客様が増える傾向のため」(サービス業)といった声が寄せられた。

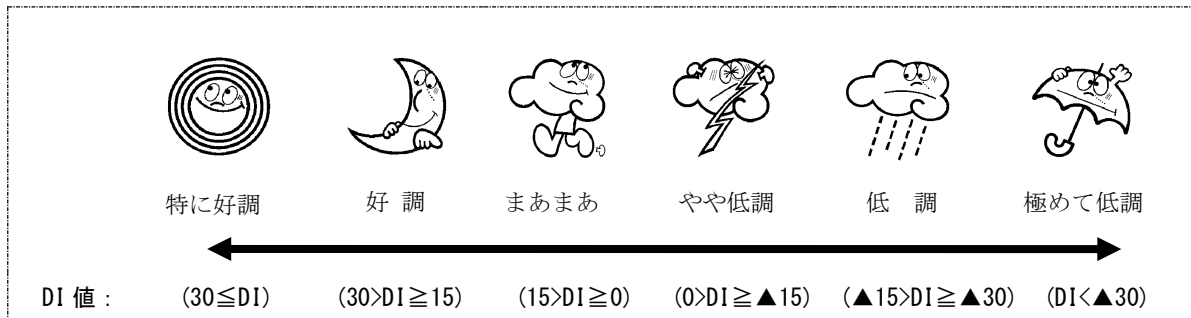
➡「変わらない」では「公共工事の予定がはずれたため」(建設業)「大型プロジェクトの検収・回収が見込めるため」(サービス業)といった声が寄せられた。



➡「下降しそう」では「公共工事発注が減少のため」(建設業)「大手製紙業の印刷用紙の値上げ情報があったため」「加工原料が不作のため」(製造業)「現在が順調すぎるため」(卸売業)「観光シーズンが終了のため」(飲食業)「受注目安が視界不良のため」「冬に入り観光シーズンが終わるため」「増加傾向であった職業訓練受講生が微減に転じたため」「春秋は節目ということで依頼が多くなるが冬は難しいため」(サービス業)といった声が寄せられた。

# 業種別景況

## <DI | 君の景況判断>



## 1. 建設業



【項目別DIの推移】

	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
売上高	13.7	20.0	20.9	0.0	14.2	16.6	4.6	▲4.6	▲8.7	4.3	0.0	16.0	8.7
受注量	18.2	4.0	12.5	▲8.7	19.1	▲9.5	▲4.5	0.0	0.0	13.1	9.1	12.0	▲8.7
受注単価	▲4.6	0.0	▲12.5	▲8.7	▲9.5	▲5.5	▲4.5	0.0	▲8.7	0.0	4.6	8.0	▲4.4
営業利益	13.6	8.0	▲4.2	▲13.1	▲14.3	▲22.2	▲22.7	▲13.6	▲21.7	▲17.4	▲22.7	▲12.0	▲13.1
見通し	▲4.5	4.0	0.0	8.7	14.3	0.0	4.5	18.2	13.1	8.7	9.1	12.0	4.4

## <経営者の目・見方・etc>

管工事

- ・売上は年末に向かって、完成が重なってきているので例年の様に多くなった。
- ・長期見通しが出来ない。

土木工事

- ・公共工事の発注も年度後半に入り、補正分も含めて期待される。

建築工事

- ・民間等の細かい受注が多く人手が不足し手配がきつかった。当てにしていた公共事業もなかなか結果に結びつかず、上昇には至らなかった。
- ・消費税率引き上げ決定に伴い問い合わせが増えてきた。
- ・相変わらず、大工・左官は人手不足である。

鉄工

- ・先月同様に材料、資材の手配が困難な状態であった。
- ・秋から年度末までは良い状況が継続しそうである。
- ・鋼材の入手難、ハイテンションボルトの入手が遅延し始めた。
- ・夏場以降、収益の改善(受注単価の改善)が進まない。

## 2. 製造業



### 【項目別DIの推移】

	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
売上高	▲ 4.5	0.0	▲ 13.7	▲ 4.3	▲ 14.3	▲ 14.3	8.7	▲ 5.0	0.0	18.2	13.0	0.0	8.7
受注量	▲ 9.1	0.0	▲ 13.6	▲ 8.7	▲ 14.3	▲ 9.5	8.7	0.0	▲ 4.5	4.6	13.0	▲ 4.0	8.7
受注単価	▲ 18.2	▲ 15.0	▲ 13.6	▲ 8.7	▲ 23.8	▲ 23.8	▲ 13.0	▲ 5.0	▲ 18.2	▲ 13.7	▲ 13.1	▲ 16.7	▲ 8.7
営業利益	▲ 9.1	5.0	▲ 4.6	▲ 4.4	▲ 47.6	0.0	▲ 4.4	▲ 15.0	▲ 18.2	18.2	13.0	0.0	8.7
見通し	0.0	▲ 5.0	▲ 9.1	8.7	9.5	▲ 14.3	▲ 8.7	15.0	▲ 4.6	0.0	8.7	▲ 4.2	▲ 8.7

### <経営者の目・見方・e t c>

印刷

- ・10月は行政の予算見積り依頼が集中する時期である。月末に行けば行くほど、見積り依頼が増える。短時間で費用を正しく積算することが出来るかどうかが重要となるが、安価な見積りを提出すると無理矢理安価に製造しなければならなくなる。この悪循環がさらなるデフレを生んでいる。仮に出来ると受注しても外に流れていく事が増えて、業界の地域内経済循環は乏しいばかりである。入札最低価格制度の導入が先送りにされればされるほど、デフレとともに地域のお金は外に流れていく。

菓子

- ・印刷業界(頁物印刷)はやや動きが低調である。

- ・相変わらず求人苦に苦戦している。

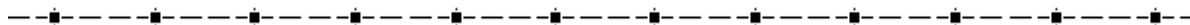
- ・輸送運賃、段ボール、小麦粉の値上げが予定されており、製品の単価値上も考えなければならない状況である。

精密機械

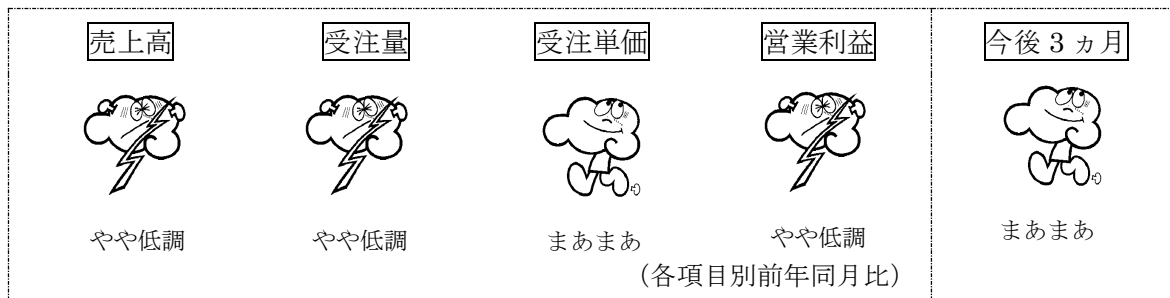
- ・業種によって仕事量の変動している。

金属塗装

- ・塗装の受注、売上が大きく伸び採算も良くなった。銘板は横ばいで、原油、LPGの値上がりが心配である。



### 3. 卸売業



【項目別DIの推移】

	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
売上高	13.4	13.4	25.0	6.7	12.5	7.7	▲ 15.4	26.6	▲ 26.7	▲ 18.2	▲ 30.0	▲ 54.5	▲ 7.2
販売客数	▲ 6.7	6.6	0.0	0.0	0.0	▲ 15.4	▲ 7.7	0.0	▲ 6.7	0.0	▲ 10.0	▲ 27.3	▲ 14.3
販売客単価	6.6	13.3	18.8	6.7	18.7	23.1	0.0	▲ 6.6	▲ 6.7	▲ 9.1	10.0	0.0	14.3
営業利益	6.7	▲ 13.3	0.0	0.0	▲ 37.5	▲ 23.1	▲ 15.4	▲ 6.6	▲ 6.7	▲ 18.2	▲ 10.0	▲ 36.3	▲ 7.2
見通し	▲ 6.7	▲ 6.7	▲ 6.2	▲ 13.3	▲ 6.3	0.0	▲ 7.7	6.7	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0

#### <経営者の目・見方・e t c>

- |      |   |
|------|---|
| 土産品  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的には売上が低迷している。明るい材料がなく厳しい状態が続きそうである。</li> <li>・鉄鋼関連は依然好調に推移しており、入手困難な材料が出てきている。加工先は手一杯の状態が続いている。</li> <li>・昨年同期より悪くなってきている。</li> </ul> |
| 金属製品 |   |
| 機械工具 |   |

### 4. 小売業



【項目別DIの推移】

	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
売上高	▲ 12.9	▲ 20.7	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 18.2	▲ 11.5	▲ 10.7	▲ 38.7	▲ 8.0	▲ 30.8	▲ 29.0	▲ 10.0	▲ 26.7
販売客数	▲ 22.5	3.5	▲ 30.0	▲ 25.9	▲ 18.1	▲ 27.0	▲ 10.7	▲ 25.8	▲ 32.0	▲ 38.5	▲ 38.7	▲ 23.3	▲ 26.6
販売客単価	0.0	▲ 10.4	0.0	▲ 3.7	3.0	11.6	17.9	▲ 19.4	0.0	▲ 7.7	▲ 12.9	▲ 3.3	▲ 13.4
営業利益	▲ 9.7	▲ 20.7	▲ 20.0	▲ 33.3	▲ 15.1	▲ 26.9	▲ 25.0	▲ 54.9	▲ 20.0	▲ 46.2	▲ 35.4	▲ 20.0	▲ 36.6
見通し	3.3	3.4	▲ 13.3	7.4	0.0	▲ 3.9	▲ 3.6	3.2	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0

#### <経営者の目・見方・e t c>

- |      |  |
|------|--|
| 印章   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハンコは分身だという啓発活動が販促に繋がる。</li> <li>・祭りやイベントへの人出が、年々減っているように感じる。9月に3連休が2回あった影響かもしれない。</li> <li>・10月から忙しくなってきたので、このまま続いてほしい。</li> </ul> |
| 住宅機器 |  |

ショッピングセンター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天候的には順調な月であったが、来街者の減少傾向が続いている。特に30代のニューファミリーの郊外マーケットへの分散化傾向がみられる。今後商材の強化はもちろんこと、交通アクセス、駐車場など多角的にアプローチしていく必要があると思う。</li> </ul>
陶磁器	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天候に恵まれ市内のイベントには多くの人出があったが、市場規模に対してイベントが多すぎて消費が分散している感じである。街の活性化を促進する段階か、調整する段階に入ったかもしれない。厳冬期のイベントに限られるだけに難しい課題ではある。</li> </ul>
観光物産	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松茸のまずまずの入荷と紅葉の時期になった為、お客様が増えたことにより売店、食堂ともに良かった</li> </ul>
おやき	<ul style="list-style-type: none"> <li>・売上が上がってきた。生産量を上げてシーズンに備えたい。</li> </ul>
菓子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神道祭、そば祭りのイベント等あったが、街中への人出はいまひとつであった。外国人観光客が多かった。</li> </ul>
生鮮食品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イオンモール開店から1年を経て中心市街地に影響が出てきた。</li> <li>・土日はあちこちで催し物があり人は動いているが、売上には結びつかない。</li> <li>・城の西側駐車場は満杯で、外国人観光客が多いが、大名町まで歩いてその先どこへ行くのか分からない。</li> </ul>
ガラスサッシ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山雅FCの活躍と市補助金等の好材料が揃っているので、今後大いに期待したい。</li> </ul>
書籍・木のおもちゃ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クリスマス商戦に向けて準備を進めている。生活スタイルの変化の為か、休日に家族連れで子供の本を選びに来るお客様がめっきり少なくなった。</li> </ul>
婦人服	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商材の納期遅れ(水害等による倉庫の停電)があつて期日までの訴求に間に合わず落とした数字を後半まで取り戻せなかった。下取りやセールなど他店のイベントがあつて、良い品を訴求する高級感が作りにくかった。</li> </ul>



## 5. 飲食業



【項目別DIの推移】

	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
売上高	▲ 20.0	0.0	▲ 23.5	▲ 25.0	▲ 35.0	▲ 11.1	▲ 25.0	▲ 22.2	▲ 21.1	▲ 61.1	▲ 15.8	▲ 52.6	▲ 17.6
販売客数	▲ 20.0	5.9	▲ 23.5	▲ 30.0	▲ 30.0	0.0	▲ 12.5	▲ 22.2	▲ 21.0	▲ 72.2	▲ 15.8	▲ 52.6	▲ 11.7
販売客単価	▲ 25.0	0.0	▲ 23.5	▲ 25.0	▲ 10.0	▲ 5.5	▲ 12.5	▲ 16.6	▲ 10.5	▲ 33.3	▲ 5.3	▲ 36.8	▲ 5.9
営業利益	▲ 25.0	0.0	▲ 23.5	▲ 30.0	▲ 35.0	▲ 22.2	▲ 31.2	▲ 33.3	▲ 36.9	▲ 66.6	▲ 26.3	▲ 47.4	▲ 17.6
見通し	▲ 5.0	5.9	▲ 17.6	25.0	5.0	5.5	▲ 6.2	▲ 5.6	21.0	0.0	▲ 15.8	▲ 10.5	17.6

### <経営者の目・見方・etc>

寿司

- ・天候に恵まれ、多くのお客様が来店した。今後は食材価格の値動きに注視したい。

- ・歴史のある築地市場が遂に豊洲に移転した。賛否両論はあるが移転したので、ここからまた長い歴史が始まるだろう。ごたついていた市場もやっと少し落ち着いてきた感じである。半年か1年も過ぎれば慣れてしまうだろう。築地に比べて清潔になったのは間違いない。

料理

- ・松茸が豊作で安くお客様に提供できて喜ばれた。

郷土料理

- ・紅葉シーズンで観光客も持ち直し、平日昼の来客が増加したが土日は静かな日もあった。

中華料理

- ・この界限でも年々ハロウィンが盛んになってきた。仮装行列の後に子供連れで来店するお客が増えた。街の行事を取り仕切ってくれる方に感謝している。
- ・市営駐車場がなくなり、そば祭りなどの大勢の方で賑わう時に大渋滞が起きたので今後の観光シーズンが心配である。

食堂

- ・イオンモールは相変わらず土日の人出が多い。そば祭りは例年売上減になるが、今年は影響が少なかった。今月は平日の売上が平均して良かった。

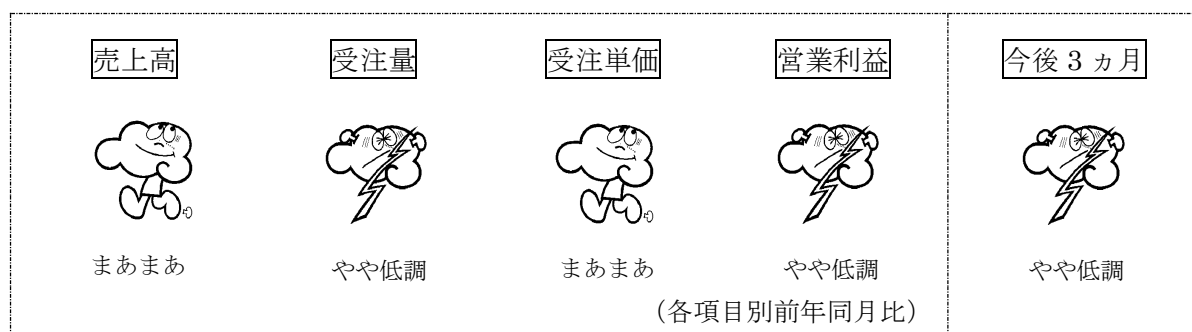
ラーメン

- ・人手不足で困る状態である。
- ・外国人への対応に苦慮している。

そば

- ・ガソリン、灯油の高騰で冬に向けて何らかの影響が出てくるのではと心配である。消費の低迷が気がかりである。

## 6. サービス業



### 【項目別DIの推移】

	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
売上高	4.9	0.0	▲ 2.5	▲ 9.5	0.0	▲ 2.7	10.2	2.3	8.5	15.4	2.1	0.0	2.3
販売客数	0.0	▲ 2.3	▲ 9.8	▲ 23.9	▲ 12.8	▲ 5.4	6.1	▲ 8.9	6.4	1.9	▲ 8.4	▲ 4.2	▲ 7.0
販売客単価	9.8	▲ 4.6	▲ 2.4	▲ 4.8	0.0	8.1	4.0	4.4	4.3	5.8	4.2	4.2	7.0
営業利益	▲ 4.9	▲ 2.3	▲ 9.8	▲ 16.7	▲ 5.1	▲ 5.4	8.1	▲ 2.3	4.3	1.9	▲ 2.1	▲ 6.4	▲ 7.0
見通し	▲ 4.9	0.0	0.0	▲ 4.7	2.6	8.1	6.1	8.9	14.8	0.0	6.2	4.2	▲ 7.0

### <経営者の目・見方・etc>

自動車整備、 板金塗装 観光旅館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当社は決算月である。当期は全体的に多忙であったが、先行きに不安を抱えながら忙しいくらいの仕事量を多く取り、利益に繋げたいものである。</li> <li>・初旬は悪天候で客足も鈍っていたが、中旬から後半は好天に恵まれ、昨年並みの成果を出すことができた。特に後半は山の雪を見に来るアジアのお客様が多く、外国人の比率は46%にも達し、なかでもビザの緩和の影響なのかタイの個人客が爆発的に増えている。</li> </ul>
温泉旅館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的には夏期と変わらない。</li> <li>・外国人の宿泊者が多い。</li> </ul>
ホテル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊はインバウンドの入り込みもあり、大変良かった。宴会は例年通りであった。11月の予約が両方とも少し弱い。</li> </ul>
宿泊	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シーズンを通すと(数字的には)昨年並みの入り込みのように思えるが、日帰り客が増加した。特に10月後半は外国人が目立った。</li> </ul>
写真	<ul style="list-style-type: none"> <li>・微増ではあるが売上が伸びている。七五三、一般行事に向けて頑張りたいと思う。</li> </ul>
タクシー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紅葉シーズンで、上高地・乗鞍方面での稼働と客単価が上がり売上高は前年より良かった。</li> </ul>
機械設計 ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まだ製造業の忙しさは続いている。</li> <li>・技術者の常駐が必要なものについては、大手の引き合いに応じる構造に変化はなく、一頃よりは落ち着きを見せている。</li> <li>・県内外のエンドユーザに関する案件は老朽化したものをイントラまたはクラウドに乗せ替えるものが多い。</li> <li>・今後、軽減税率対応の駆け込み案件が増えそうな予感がする。</li> </ul>
ホームクリーニング、 リネンサプライ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原油のみならず、関連製品の値上げが利益を圧迫している。</li> </ul>
美容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・価格競争により値引き合戦をしているサロンがほとんどで、値引きでしか新規集客が出来なくなっている。</li> </ul>

ネイル

- ・秋期ネイル技能検定試験が全国で開催され多くの受験生が緊張感を持って受験した。
- ・11月11日はネイルの日でネイリスト協会はピンクリボン運動などを開催する。ネイルエキスポに向けて今年のネイルクイーンが発表され、2019年の春夏のトレンドデザインが「硝子」に決定するなどたくさんの動きがあった。

教育業

- ・ハロウィンがあり、教室に来ている子供も参加して楽しんでくれたようで良い宣伝になった。

